

当キャンペーンにより支援する開発事業 — 3217 万円 —

バングラデシュ

825 万円

■母子対象のヘルスケアセンター運営、有機農業センター建設



健康診断の順番を待つお母さんと赤ちゃん

バングラデシュ北部のボダ郡では、18%の赤ちゃんが1歳になる前に命を落としてしまいます。お母さんの栄養不足や、きちんと教育を受けた助産師の介助なしで出産する割合が高いことなどが原因です。そこでHFWは、母子対象のヘルスケアセンターを運営し、安全な環境で出産できるよう支援しています。回収キャンペーンのご支援は、今年度のヘルスケアセンターの運営費の一部にあてられます。



ミズたい肥コンポストを見学する農家

また西部カリガンジ郡に新たに有機農業センターを建設し、貧困に苦しむ農家が費用のかさむ農薬や化学肥料などを使わずにすむよう支援します。回収キャンペーンのご支援により、たい肥づくり研修や農場見学などを行います。

ベナン

797 万円

■青少年・成人対象の識字教室、子どもの栄養改善



小さな黒板で一生懸命、字を書く練習

ベナンでは6割の人が字の読み書きができません。HFWは2004年度から識字教室で現地語フォン語の教育を行っています。教室を始めたばかりのころは60名しかいなかった生徒も、現在は280名にまで増えました。教員2名では手が足りず、識字教室の卒業生を対象に教員としての育成研修と採用試験を実施。1年前には読み書きもできなかった住民から、新たに教員4名が誕生しました。回収キャンペーンのご支援は、新任教員のスキルアップ研修費、住民から提供された空き家の教室への改築費にあてられます。



ベナンでは、3人に1人の子どもが栄養不良

また回収キャンペーンのご支援により、新たに子どもの栄養改善事業を開始します。

■協同組合支援、学校給食



給食の時間。今日は炊き込みご飯

ブルキナファソの活動地では、家が遠いために学校に行く前に朝食をとれず、また昼食をとりに家に戻ることができない子どもたちがいました。お腹が空いては、授業に集中することができません。そこで2006年度から、全校生徒280名のピン村小学校で学校給食を提供しています。今年度も継続するほか、地域に新しく建設されたばかりの小学校1教室の生徒60名にも給食を提供します。



漁業を始める予定の貯水湖

マイクロクレジット(小規模貸付)や養蜂指導など女性の支援を中心に行ってきた協同組合支援。回収キャンペーンのご支援により、男性を対象とした貯水湖での淡水漁業の支援を開始します。

ウガンダ

■有機果樹植林、子どもの権利啓発



枯れないよう、毎日の水やりは欠かせません

HIV/エイズで夫や親を亡くした女性が世帯主になっている家庭が多いウガンダ。そうした女性たちが家計を支えることができるよう、2007年度から苗木の提供と技術指導を行い、マンゴーなどの果樹植林を実施しています。回収キャンペーンのご支援により、今年度は対象を男性にも広げ、果樹だけでなく薬用樹ニームも植えます。さらに、今までは購入していた苗木を住民が種から育てるために、育苗場を建設します。これにより、HFWの支援が終了しても住民自らの手で植林の継続、拡大ができるようになります。



トイレの後の手洗いが病気を予防します

またHFWが支援する小学校の生徒を対象に、手洗いの重要性やHIV/エイズの知識を伝える権利啓発事業を開始します。

* 国内の啓発事業に25%(約1449万円)、運営経費に20%(約1159万)を使わせていただきます。質のよい支援を継続し、みなさまに報告するためには運営経費もかかります。支援する事業が決まったご寄付も多い中、書損じハガキによる支援金は貴重な資金となっています。